

会館だより

第411号
平成29年7月

四国中央市
朝日文化会館

電話：28-6070
FAX：28-6104

愛隣連 隣保館職員・

所管課職員新任者研修会

平成29年5月23日(火)松山市朝生田ふれあいセンターにおいて、隣保館職員・所管課職員新任者研修会が開催され、館長と主事が研修してきました。

午前中は、松山市上川原ふれあいセンターの館紹介と、県人権対策課より隣保館の事業内容についての説明がありました。

館紹介では、基本事業と特別事業の取り組みについて発表されました。中でも各地区へ出向いての人権学習会の実施や、地区文化祭での啓発活動、リトミック講座(子育て支援)などは当館では実施していない内容で大変参考となりました。

朝日文化会館も、人と人とを繋げる地域のコミュニティセンターとして、また、相談事業を通して地域住民に必要とされる会館を目指さなければならぬと思いました。

午後からは、隣保館活動入門と題し、全国隣保館連絡協議会常任顧問兼事務局長の中尾

ゆきお
由喜雄氏の講演がありました。

講演は、隣保事業の歴史や福祉と人権のまちづくりの内容で、世界で最初の隣保事業は明治17年、イギリスでスラムを救済する団体や個人が行ったセツルメント運動の事だそうです。

また、日本に社会福祉の考え方が入ってきて、明治23年に岡山に相愛夜学校、明治24年に岡山花畑日曜学校が開校され、その殆どが被差別地区でした。その後、明治30年に片山潜せんが東京で設立したキングスレー館は、労働者を対象とした学習会や幼稚園の経営等を行ったセツルメントで、初めて被差別地区以外での事業だったそうです。これが現在の隣保事業の始まりでした。

最後に昨年の12月に施行された部落差別解消推進法について、あくまで理念法であり具体的な内容について言及していませんが、初めて部落差別が現存することを明文化した法律であり、法律の持つプラス効果は大きなものがあると話されました。隣保館でもこの法律が施行されたことを広く周知し、この法律に基づいて、差別の解消に向け取り組んでいかなければならないと思えます。

朝日文化会館 主事

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
囲碁 / 卓球		舞踊 / 囲碁	卓球 / 詩吟	卓球	囲碁 / スマイル / スマイル / ジュニア	ヨイガ / 大正琴 / 卓球 / 健康体操	囲碁 / 卓球		舞踊 / 囲碁	卓球 / 詩吟	年金出張相談(要予約)	大正琴 / スマイル / ジュニア	ヨイガ / 大正琴 / 卓球 / 健康体操	海の日		舞踊 / 囲碁	四人教研究大会(松山)	卓球	囲碁 / スマイル / ジュニア	大正琴 / フォークダンス / 健康体操	松柏地区民協定例会	各種相談日	舞踊 / 囲碁	愛隣連先進地視察研修(京都)	愛隣連先進地視察研修(奈良)	大正琴 / スマイル / ジュニア	ヨイガ / キッズ / 健康体操	囲碁 / 卓球		舞踊 / 囲碁

行事予定(7月)

第37回 会館まつり盛況のお礼

6月3日(土)・4日(日)に「第37回会館まつり」を開催いたしました。

3日(土)の晚には自治会や会館サークル、各公民館、保育園・幼稚園・小中学校などが演芸大会に出演し、175名もの方に来館いただきました。また、今年は各自治会からも演芸大会に出演いただき、ご近所の方も見に来られ、会館に久しぶりに来たという声も聞くことができました。

演芸大会のオープニングセレモニーには、四国中央市エアロビクス協会とエリエルジュニアエアロビクチームをお呼びし、愛顔つなぐえひめ団体のオープニングデモを行っていただきました。子どもたちの元気いっばいのエアロビクや、だれでも手軽に楽しめるエアロビクを会場全員で体験し、皆で気持ちの良い汗を流しました。

2日間の日中には、自治会や各公民館、保育園・幼稚園・小中高등학교から347点もの作品を出展いただき、作品展示も行いました。どの作品も力作ばかりで、282名の方が作品を見に来館されました。

このように盛大に会館まつりを開催できましたのも、地元企業様、及び地元自治会様、会館利用サークル様、各公民館サークル様、保育園・幼稚園・小中高등학교様、周辺地域の皆様方の当会館への深いご理解と、多大なるご協力の賜物と深く感謝いたしております。

今後とも会館活動につきまして、ますますのご支援をいただけますようお願い申し上げます。お礼の言葉いたします。

文化活動実行委員会

芸能発表会



作品展示

